

課題

- ・読書バリアフリー法施行後もテクノロジーを活用した読書に関する取組は限定的
- ・多様な読書困難者への支援が不足
- ・公共図書館での機器貸出は未整備
- ・機器導入・運用への不安

事業のねらい

- ① 全国の機器貸出実施施設情報の拡充
- ② 読書支援機器貸出事業の実践モデル構築
- ③ 実務で活用することができるリソースの整備

↓
多様な読書ニーズに対応するための環境整備の推進



筑波技術大学
読書バリアフリーコンソーシアム
テクノロジーハブ

実施内容

- ① 全国アンケート調査の実施と機器貸出実施施設情報の更新
- ② 読書支援機器貸出事業「みかん箱プロジェクト」の試行
- ③ 運用モデルの整理とオンラインシンポジウム

- ① 全国アンケート調査の実施と機器貸出実施施設情報の更新



- ・機器貸出実施状況を調査
- ・2,308団体中243団体が回答
- ・支援機器を館外貸出する組織は少なく、地域的な偏り

- ② 読書支援機器貸出事業「みかん箱プロジェクト」の試行



- ・つくば市、取手市の公共図書館が協力
- ・読書支援機器の団体貸出を試行

- ③ 運用モデルの整理とオンラインシンポジウム



- ・みかん箱プロジェクト運用モデルをウェブサイトで公開
- ・運用モデルの解説と参加館との座談会を、オンラインシンポジウムとして公表

成果

○令和7年度読書の際に使用する機器の貸出に関する実態調査

https://www.i.tsukuba-tech.ac.jp/techhub/2025_survey_result/

- ・貸出実施組織は、事業目的が視覚障害者の支援に特化する傾向
- ・未実施組織では、設備整備や運用体制への懸念が導入の障壁

○機器貸出実施施設一覧（更新）

<https://www.i.tsukuba-tech.ac.jp/techhub/rental/>

- ・館外貸出を実施する組織が少なく、地域的に偏在する状況が継続

○読書支援機器貸出事業「みかん箱プロジェクト」運用モデル

<https://www.i.tsukuba-tech.ac.jp/techhub/mikanoperatingmodel/>

- ・貸出手順の標準化
- ・小規模でも実施可能な運用モデル
- ・文書・イラスト等のテンプレート整備

○2025年度活動報告（オンラインシンポジウム）

<https://www.i.tsukuba-tech.ac.jp/techhub/2025activityreport/>

- ・読書支援機器に関する普及啓発と専門性向上の必要性

ウェブサイトアクセス数

R5年度	R6年度	R7年度
546件	2,389件	4,406件

課題

教育分野における 図書・教材のバリアフリー

事業のねらい

①読書バリアフリーに関する過去の優れた実践から、今後必要な連携のあり方を検討

- これまでの読書バリアフリー、図書・教材のアクセシビリティ保障に関連した先進的なグッドプラクティス（GP）を集約・分析・整理し、バリアフリー図書の製作・提供の方法、それらの促進に向けた連携方法を検討

②一般への情報公開

- ①で得られた知見を広く啓発するため、公開シンポジウムやウェブサイトで情報公開



<https://accessreading.org/conso/>

© 学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム

実施内容

➤ 今年度のテーマ 「読書バリアフリーに関する広域的な取り組み」

- 機縁法で7団体にヒアリングを実施
- 関係者会議で読書バリアフリーの取り組みの具体的なアクションを精査
- 上記結果を整理し、ウェブサイト等で公開

①関係者会議の開催



- 全2回オンライン開催
- 今年度テーマに関する情報提供、ヒアリングから見出された現場での課題、FAQについて議論

②オンライン公開シンポジウムの開催



- 後日配信希望者含む173名申込、当日115名参加
 - GP事例1件、本事業ウェブサイト紹介、質疑応答
- 事後アンケート：読書バリアフリーに向けた支援方法等についての理解が深まったか(46件回答)
→とてもそう思う23件(50.0%)
→そう思う23件(50.0%)

③ウェブサイトの充実



- GP事例2件追加
- 「はじめ方」でやってみたい読書バリアフリーに関する取組ごとのまとめを追加
- 公開シンポジウムをオンデマンド動画で一般公開！

成果

● 広域的な取り組みの展開

- ヒアリングの結果、自治体主導による条例整備や学校図書館を含めた取り組み、情報サイトの整備など、先進的な実践が確認された。また、学校と図書製作ボランティアの連携や、特別支援学校教員による学校図書館整備や読書活動支援に関する研究会の実践も見られ、今後の広がりが期待される。

● 読書バリアフリーの取り組みに関する情報の集約と公開

- 読書バリアフリーの取り組みに関する情報を収集・整理し、公開シンポジウムで発信した。今年度は保護者からの事前質問も多く、関心の高まりがうかがえた。
- ウェブサイトではGP事例を追加するとともに、「やってみたい」内容別に再編し、実践の参考として公開。

- ✓ 障害等のある児童生徒・学生の、より広範な図書や資料へのアクセス拡大に期待

